

2021 年度 最終 1 月東大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語 1 つにつき 1 点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

第1問 (20点)

設問A

(1) 2点

a-イ b-ア c-ウ d-エ

※4個正解 →2点 1~3個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 3点

Fはアンデス山脈西側で雨を落とした偏西風が下降気流を形成し、Gは大気下部が寒流に冷やされ雨雲を作る上昇気流が生じ難い。(2行)

【加点ポイント】

- ① (Fの要因) 偏西風の風下になる／偏西風がアンデス山脈西側で雨を落とす
／山脈で雨を落とした偏西風が下降気流になる →1点
- ② (Gの要因) 寒流により大気下部が低温になる／寒流により大気の逆転が起こる
／寒流の影響で大気が安定する →1点
- ③ (②により) 上昇気流が生じ難い →1点

(3) 3点

Pは、サトウキビ農園で働く奴隷をQから輸入して砂糖を生産し、Rに輸出した。その結果、Pには黒人とその混血が多くなった。(2行)

【加点ポイント】

- ① (PとQの貿易) Qから奴隷を輸入／Qからサトウキビ農園の労働者を連行した →1点
- ② (PとRの貿易) Rに砂糖を輸出 →1点
- ③ (①②の結果) Pには黒人が多くなった／Pには黒人の混血が多くなった →1点

(4) 4 点 ※ [指定語句] 社会主義国 代替燃料 2 つ全て 下線付きで使用

キューバは、同じ社会主義国であったソビエト連邦が崩壊し、砂糖の主な輸出先を失った。ブラジルでは、石油の価格が高騰し、その代替燃料となるバイオエタノールの原料としての需要が増えた。(3 行)

【加点ポイント】

- ① (キューバについて) 「ソビエト連邦 (ソ連) 崩壊」により
「ソビエト連邦 (ソ連) への砂糖の輸出が減った」 →1 点
- ② (①に関連して) キューバもソ連も社会主義国であった →1 点
- ③ (ブラジルについて) 「石油 (ガソリン) の代替燃料」となる
「バイオエタノール (バイオ燃料・バイオマスエタノール) の原料」となった→1 点
- ④ (③の背景) 石油価格の高騰/石油危機 →1 点

設問 B

(1) 2 点

X－魚介類/魚類 Y－原油/石油 Z－カカオ豆/カカオ

※3 個正解 →2 点 1～2 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(2) 3 点

広大な大陸棚の上にバンクが発達する北海の好漁場と、波が穏やかで水深が深く、漁港や養殖場の立地に適するフィヨルドを持つ。(2 行)

【加点ポイント】(※(1)Xの可否は不問とする)

- ① (周辺に) 大陸棚/バンクが発達 →1 点 (※「地形的要因」でない「潮目がある」では加点しない)
- ② フィヨルドが発達 →1 点
- ③ (②は) 漁港 (養殖場) に適する/天然の良港となる →1 点

(3) 3 点 ※ [指定語句] U字谷 広がる境界 2 つ全て 下線付きで使用

U字谷に設けたダムによる水力発電や、広がる境界のマグマ熱による地熱発電が盛んで、精錬工程で大量に使う電力の費用が安い。(2 行)

【加点ポイント】

- ① (アイスランドは) 電力の費用が安い/電力志向型工業が立地する
/アルミニウム生産には電力を大量に使用する →1 点
- ② (電力源として) 「U字谷に設けたダム/U字谷の高低差」による「水力発電」 →1 点
- ③ (電力源として) 「広がる境界のマグマ熱/広がる境界上で火山が多いこと」による「地熱発電」
→1 点

第 2 問 (20 点)

設問 A

(1) 1 点 (完答)

アー海底ケーブル イー光ファイバー ウーハブ空港

(2) 4 点 ※ [指定語句] 大型機 燃費 乗り換え 3 つ全て 下線付きで使用

長距離は大型機で大量に輸送し、近距離は燃費の良い小型機で頻繁に輸送することで、輸送コストを抑えるとともに、拠点空港での乗り換えの利便性を高めて航空需要の拡大を目指すため。(3 行)

【加点ポイント】

① (目的・利点) 輸送コストを抑える／航空輸送全体の燃費を上げる

／航空需要を拡大する／航空需要に応える／輸送効率を上げる →1 点

② (方法・背景など)

・長距離は大型機で大量輸送する／近距離は小型機を利用する

・小型機は燃費が良い／大型機は燃費が悪い

・少ない路線で都市間を結べる／各都市間を直行便で結ぶのは効率が悪い

・拠点空港での乗り換えの利便性を高める／ハブ空港が乗り換え拠点となる

1 つ 1 点
3 点まで

(3) 3 点

香港は地震の少ない安定大陸に位置するうえ、中国本土に比ベネット規制は少なく、個人情報保護制度も整っていたため、経済成長するアジア各地への中継地としてデータセンターの立地が進んだ。(3 行)

【加点ポイント】

① (自然的理由) 地震が少ない／安定大陸に位置する／新期造山帯に含まれない →1 点

② (社会的理由) ネット規制が少ない／個人情報保護制度が整う／中国本土のような規制が少ない

→2 点

設問 B

(1) 1 点 (完答)

Cーフランス Eーイタリア

(2) 3 点

製造業が盛んな A は国際分業に関わる部品等の財輸入が多く、中継貿易が盛んな D は財輸入額が国内の実需をはるかに上回るため。(2 行)

【加点ポイント】 (※①②の合計で 3 点まで)

① (A について) 国際分業による部品等の輸入が多い／製造業に関わる部品等の輸入が多い

／自動車などの部品の輸入が多い

→2 点

② (D について) 中継貿易による輸入が多い／EU の貿易拠点としての機能をもつ

／ユーロポートが EU の玄関港となる

→2 点

(3) 3 点

Bでは英語を用いるアメリカ合衆国の物販サイトに容易にアクセスできるが、日本では海外サイトでの購入に言語障壁があるから。(2 行)

【加点ポイント】

① (文化的理由として)

- ・ Bでは英語が話される／Bでは英語が公用語である →1 点
- ・ 日本では英語が言語障壁となる／日本人は英語が不得手な人が多い →1 点

② (①の背景として、越境電子商取引は) アメリカ合衆国の物販サイトが多い
／英語を使った物販サイトが多い →1 点

(4) 1 点 7388 億円 (の黒字) / +7388 億円 ※「億円」の欠落は加点しない

(5) 国名 1 点 (完答) a - 日本 b - 中国

(5) 理由 3 点

購入額が小さい a は越境電子商取引が普及していない日本、購入額が大きい b は、高品質の海外産消費財の需要が高い中国である。(2 行)

【加点ポイント】

★(5) 国名「a - 日本, b - 中国」の正解を加点の前提とする

① (a について) 「購入額が小さい」ので「越境電子商取引が普及していない」 →1 点

② (b について) 購入額が大きい／販売額が小さい →1 点

③・ (②の購入額が大きい理由) 高品質の海外産消費財の需要が高い／富裕者層が爆買いをしている
／人口が多い
・ (②の販売額が小さい理由) 消費財の国際競争力が低い／高品質の商品が少ない

いずれかで 1 点

第 3 問 (20 点)

設問 A

(1) 1 点 (完答)

a - オンタリオ州 b - ケベック州 c - ブリティッシュコロンビア州

(2) 2 点

ケベック州唯一の公用語となっているフランス語の話者が多い。(1 行)

【加点ポイント】

フランス語の話者が多い →2 点

(※「フランスとフランスの旧植民地である」のみ →1 点)

(3) 3 点

冬の寒さは厳しいが夏は温和で過ごしやすく、隣接するアメリカ合衆国の工業地域から多くの企業が進出し、雇用機会に恵まれる。(2 行)

【加点ポイント】

- ① (自然的要因) 温和である／カナダの中では比較的気温が高い →1 点
- ② (社会的要因) 雇用機会が多い／工業が発達する →1 点
- ③ (②の背景) アメリカ合衆国の工業地域に隣接する
／アメリカ合衆国から多くの企業が進出する
／五大湖沿岸の工業地域は国境を越えて一体化している →1 点
(※隣接するアメリカ合衆国との経済関係が強いことが分かれば加点する)

設問 B

(1) 4 点

沿岸の湾、半島、島が多い複雑な海岸線は天然の良港となり、内陸の台地末端は滝線として水力源および内陸水運の起点となる。(2 行)

【加点ポイント】

- ① (沿岸の地形) 海岸線が複雑／湾や半島、島が多い →1 点
- ② (①は) 良港となる／水上交通が発達 →1 点
- ③ (内陸) 台地の末端／台地と平野の境界／滝線 →1 点
- ④ (③は) 水力源となる／水力による製粉業や紡績業が発達／水力発電が可能
／内陸水運の起点になる／水陸交通の結節点になる →1 点

(2) 4 点 ※ [指定語句] 新しい移民街 高所得層 荒廃 製造業 4 つ全て 下線付きで使用
I 期は製造業の流出した中心部が荒廃し、高所得層が郊外に流出した。II 期は中心部で再開発が進み、金融部門などの高所得層が回帰する一方、郊外には増え続ける移民が新しい移民街を形成した。(3 行)

【加点ポイント】

- ① (I 期) 中心部(都心)が荒廃した／製造業が中心部から流出した／中心部に移民街ができた →1 点
(※「新しい移民街」では加点しない)
- ② (①により) 高所得層が郊外に流出した／郊外への人口流出が起きた →1 点
- ③ (II 期) 中心部で再開発が進んだ →1 点
- ④ (③により) 「中心部への高所得層の人口回帰」と「郊外で新しい移民街」が形成された →1 点

設問 C

(1) 2 点

支店経済の発達により単身赴任者が多い。(1 行)

【加点ポイント】

- ① 単身赴任者が多い／周辺市町村（周辺県）からの若年層の流入が多い →1 点
- ② (①の背景) 支店経済の発達／地方中枢都市で中心地機能が集積するため雇用が多い
／大学などの各種学校が集積している →1 点

(2) 4 点

バブル経済崩壊後の地価下落と規制緩和によって、都心再開発に伴う高層集合住宅の大量供給が進み、若年の高所得層が流入した。(2 行)

【加点ポイント】

- ① 都心の再開発／都心に高層集合住宅が増えた／都心の住宅供給が増えた →1 点
- ② (①の背景) バブル経済の崩壊／地価下落／規制緩和 →1 点
- ③ (①により) 若年層の流入／高所得層の流入／人口の都心回帰 →2 点